

JASRACコンサート

少年少女のための音楽鑑賞会

音楽職人が創るステージ

【日立・水戸・いわき公演】

少年少女にスタジオミュージシャンによる生演奏を体験してもらうとともに、著作権制度についても知ってもらう演奏会「音楽職人が創るステージ」。東日本大震災以降は毎年被災地で開催しており、今回は茨城県日立市と水戸市、福島県いわき市にて下記3公演を開催。計1,900人余りの方にご来場いただいた。

日立公演： 9月30日(金) 日立シビックセンター
水戸公演： 10月 1日(土) 駿優教育会館
いわき公演： 10月 2日(日) いわき市勿来市民会館



開催にあたっては各県・市、および各県・市の教育委員会の後援をいただきました。

演奏指導

コンサート開催前に、出演するプロの奏者による生徒への演奏指導が行われるのがこのイベントの特徴。7月9、10日に水戸市、いわき市の中学校で実施した(会報8月号で既報)のに続き、10月1、2日の公演本番前に、それぞれ水戸市立第一中学校吹奏楽部といわき市勿来第一中学校吹奏楽部の生徒たちが指導を受けた。



口の形や呼吸法など、プロの奏者からの丁寧なアドバイスを、生徒たちは真摯なまなざしで聞いていた。

コンサート

コンサートは、モーツァルトの『フィガロの結婚』で幕を開けた。アニメ映画音楽メドレーでは『となりのトトロ』や『崖の上のポニョ』など、子どもたちも一緒に歌って手拍子を打ち、会場が一体となり和やかな雰囲気包まれる。JASRAC会員でもある佐野博美さんによる、映画「ニューシネマパラダイス」『愛のテーマ』のサクソソロ演奏に観客は引き込まれ、さらに劇団四季出身、石橋ちさとさんによるミュージカル作品の歌と踊りに魅了された。

休憩をはさんで行われた著作権クイズのコーナーでは、チェロ奏者、結城貴弘さんの軽妙なトークと、開催地にちなんだ出演者による楽しい演出、ジャスラの可愛らし



い動きも相まって、子どもにも大人にも楽しみながら考えてもらえた。

絵本「ひ・み・つ」(作：たばたせいいち)を朗読するのは、一人で何役もの声色をつくりだす佐野啓子さん。生演奏の伴奏が物語にさらに奥行きと色彩を加え、思わず涙ぐむ人も。



最後のアニメ音楽メドレーでは「アンパンマン」や「ドラえもん」「ワンピース」などのテーマ曲と会場全体の手拍子や歌がひとつになり、2時間におよぶコンサートは終演を迎えた。



終了後は出演者全員がロビーで観客を見送り、子どもたちは目をキラキラさせながら、奏者たちと握手やハイタッチ。笑顔で会場を後にした。

コンサート後のアンケートでは、「子どもにとってもこの機会に巡りあえたことは非常にありがたく、今後もぜひ継続してほしい」(30代男性)、「テレビで聴いたあのメロディの、本物にここで会えてとても感動しました」(50代女性)などの声が寄せられた。

【出演】

石橋尚子(ヴァイオリン)、押鐘貴之(ヴァイオリン)、菊地幹代(ヴィオラ)、結城貴弘(チェロ)、一本茂樹(コントラバス)、高市紀子(フルート)、石橋雅一(オーボエ)、高野哲夫(ホルン)、前田正志(ファゴット)、佐野博美(クラリネット・サクソ)、宮本一(ピアノ)、益田和嘉子(パーカッション)、石橋ちさと(ヴォーカル)、佐野啓子(司会・朗読)

【企画協力】

特定非営利活動法人RMAJ
(Recording Musicians Association of Japan)